

めざす学校像・子ども像・教員像		課題	今後の改善方針
《学校像》○ たのしい学校 ○ あたたかい学校 ○ である学校 《子ども像》 ○ 元気で明るい子ども:あいさつや身の回りのことを進んでしようとする子ども ○ 最後までがんばる子ども:学習意欲を高め、自ら進んで学習する子ども ○ 社会に参加する子ども:自分の将来に夢を持ち、社会の中で自分を生かそうとする子ども 《教員像》○ 子どもと共にある教師 ○ 専門的力量を持った教師 ○ 保護者や社会の信頼に応える教師		わかる授業、楽しい授業づくりの展開(社会に開かれた教育課程・専門性の高い指導)	個別の指導計画・支援計画を保護者に提示し、合意を得たうえで教育実践に当たる。 新学習指導要領に応じた教育内容と専門性の高い授業を実践していく。
		児童生徒および保護者のニーズに応じた医療的ケア体制の構築	教育委員会との連携のもと、安心・安全な医療的ケアの実施。保護者の学校待機を減少させるための医療的ケア体制を推進していく。
		保護者・地域・関係機関への情報提供による開かれた学校づくりの推進	地域のセンター的機能の充実、学校ホームページの細かな更新と、学校だより等により学校からの情報をより多くの人に周知していく。
重点目標	指標(取組指標・成果指標)	達成状況についての説明	
わかる授業、楽しい授業づくりの展開	個別の指導計画を基に授業と評価及び保護者への説明を行い、学習の成果について保護者と共有する。	○5月の家庭訪問で個別の指導計画をもとに、児童生徒の個々の学びについて丁寧に説明し、合意を促した上で実践を行った。また、8月の個人懇談で経過を説明・確認し、必要に応じ修正を加えながら実践を重ねている。 ○ICTの活用では、ICT専科を中心に、ミニ講座を開設するなど、研修を積んでいる。プログラミングも研修に参加し、校内で活用をはじめた。自立活動などに関する自主的な研修会にも複数参加しており、研鑽を積んでいる。 ○「学習指導」に関する4項目で「良い・おおむね良い」の平均は、保護者95.4%、教職員で83.4%だった。どちらの指標を上回ることができた。	
	ICTの活用や自立活動に関し、専科職員からの情報発信とともに、自主的な研修会等への参加を通して専門性を高める。		
	保護者アンケートの「学習指導」に関する4項目の平均で、「良い・おおむね良い」の回答率92%以上を目指す。 教職員のアンケートの「学習指導」に関する4項目の平均で、「良い・おおむね良い」の回答率82%以上を目指す。		
医療的ケア体制の確立と教員による医療的ケア実施に向けた研修体制の構築。	職員の安全に対する意識の高揚を図り、事故を防ぐため、安全点検・ヒヤリハット研修を通年で実施する。	○安全意識と危機管理のため、年間を通してヒヤリハット研修を実施している。ヒヤリハットは重大な事故を防ぐ大切な財産ととらえ、小さなことを共有しあえる環境作りに努めている。 ○第3号研修の基礎研修は8名が修了できた。発達教育センターと連携を図り、さらに進めていきたい。 ○給食のペースト食注入の試行が7月から開始され、安全に実施することができている。 ○保護者アンケートの「健康・安全指導」に関する4項目で、「良い・おおむね良い」の平均は、92.4%となり、指標を上回ることができた。	
	教育委員会との連携のもと、教員による医療的ケア実施に向けた3号研修の実施を推進、継続していく。		
	医療的ケア体制の一層の充実のため、教育委員会と連携を図りながら、保護者への理解を更に進めていく。 保護者アンケートの「健康・安全指導」に関する4項目の平均で、「良い・おおむね良い」の回答率90%以上を目指す。		
保護者・地域・関係機関への情報提供による開かれた学校づくりの推進	学校だよりの発行(月1~2回程度)とホームページの更新(年間20回以上)を行う。	○学校だよりは3月初めに22号を発行した。月2回以上のペースで発行している。ホームページも定期的に更新している。 ○地域でこののびりを再開してくださり、学習の中で見学に行くことができた。他の行事は今年もコロナの影響で中止されたが、今後も地域とのつながりを大切に、連携を深めていきたい。 ○保護者アンケートの「開かれた学校」の4項目で、「良い・おおむね良い」の回答は、83.7%だった。特に、ホームページを見たことが無いという回答が24.5%に上った。行事等の対面での実施などで、必要性が薄れたのかもしれないが、充実した情報発信ができるよう、工夫していきたい。	
	保護者へのアンケートを実施し、その結果を分析・考察し、学校だより等で公表する。		
	地域や関係機関へのホームページ紹介や細かなホームページ更新で、学校の情報発信に努める。 保護者へのアンケートの「開かれた学校」の4項目の平均で、「良い・おおむね良い」の回答率85%以上を目指す。		
学校関係者評価についての説明(評価委員からの意見・要望・改善に向けた提言等)			
○子どもたち一人一人に合った授業内容で、それぞれの資質を伸ばすことができていると思いました。ICTの活用と、実際に体験する「体験型」の取り組みのバランスもよく、様々な状況の子どもたちが等しく学習することができていると思います。 ○授業を参観し、大きな筆での習字の授業や大量の落ち葉を使っている授業など、先生方が労力を惜しまず大胆な発想でのびのびとした授業づくりに取り組み、それが子どもたちに伝わっていると感じました。これからも自然物と直にふれあい体感できるような活動も大切にしていきたいと思いました。 ○地域や他校など、外部との交流や繋がりをより増やしていき、「共生社会」へ向けての良い機会になると思います。 ○保護者アンケートの「健康・安全指導」について指標を上回る好評価に、保護者から信頼できる学校を築かれていると感じ取りました。 ○地域とのつながりを大切に受け止めておられること、地域としても感染対策に心がけながら、つながっていきたくて強く思います。 ○就学にあたって、医療的ケアが必要な子どもの保護者は不安が大きいです。医療体制をさらに充実させ、安心して子どもを送り出せる環境の充実を願います。 ○コロナ禍の中で生徒さんの安全と教育の機会の確保の両立が大変だったと思います。生徒さん一人一人に向き合っているご指導に敬意を表します。			